

令和3(2021)年度入学試験問題出題のねらい・解答例 (学校推薦型選抜)

中村学園大学短期大学部〔キャリア開発学科―公募制Ⅰ期〕

【小論文】

〈出題のねらい〉

昨年度に引き続き、グラフを読み取り、考えを述べる出題形式とした。現代社会にはさまざまな情報があふれている。情報の正誤を判断し、それらの情報から何を読み取り、どのような結論を導くかが私たちに求められている。

今年度は、株式会社マイナビ『マイナビ2021年卒大学生の就職意識調査』の中から企業選択のポイントについてのグラフを提示し、受験生諸君がどのように分析し考えるか、また合わせて自身が企業選択をする際に何を重視するかについても知りたいと考えた。

このグラフによると、2012年卒から2018年卒までは「自分のやりたい仕事(職種)ができる会社」が1位であるが、2020年卒と2021年卒は「安定している会社」が1位と逆転している。その他の特徴としては、2013年卒に2位であった「働きがいのある会社」の割合は年と共に減少傾向にあり、2012年卒は1番順位が低かった「休日、休暇の多い会社」、2番目に低かった「給料の良い会社」が増加している。「給料の良い会社」は、2019年卒以降3位にまで上がったのも目立つ。近年は収入を含めた安定を求めるとともに、ワークライフバランスが成立するような職場で働きたいという傾向が読み取れる。

【漢字の書き取り】

問題の指示に従い、漢字を正確に記述する。

〈講評〉

問題一、漢字の書き取り

漢字の書き取りの正解は①妄想、②請求、③暗黙、④変遷、⑤回避、である。間違えの例としては、「遷」「避」が書けていないものが多く、「線」や「否」としているものが多かった。漢字を学習する際は、その意味を理解しながら覚えるようにする必要がある。

問題二、小論文

グラフは、大学生が企業を選択する場合、どのような企業がよいと思うかについての調査結果である。受験生諸君はこれまで考えたことがなくとも、近い将来に当事者となる身近な問題である。書きやすかったためか、指定の文字数については十分に満たしているものがほとんどであった。

「安定した会社」に関する自分の考えはよく書けていたが、その大半が「新型コロナウイルスの影響」が理由で「安定」を重視していると捉えたものが多かった。2021年卒は新型コロナウイルスが影響していると考えられるが、「安定した会社」の割合は2016年卒から右肩上がりが増加しており、2020年卒から1位となっているため、安定志向は新型コロナウイルスだけが理由とは考えられない。また、大学生の就職活動のスケジュールを知らない受験生には理解しづらいであろうが、2020年卒が内定を得た段階では新型コロナウイルスは発生していない。推移を表したグラフは1点だけでなく変化に着目し丁寧に見ていく必要がある。

一方で「自分のやりたい仕事(職種)ができる会社」が減少している点にも触れ、自分の考えを述べているものや、「働きがいのある会社」の割合の減少や「休日、休暇の多い会社」「給料の良い会社」の増加に着目し、働き方やワークライフバランスについての考えを述べているものには、感心させられた。働くことや自身のキャリア形成についての意識が高い受験生が多いことを嬉しく思う。さらに本学科で自身のキャリア形成について学び、努めていただきたい。

少数ではあるが、グラフの変化や数値には全く触れず、企業選択をする際のポイントとして自分の意見だけを述べている受験生がいたのは残念である。グラフが提示されている場合、ま

ずは情報を読み取り、今回のように時系列の推移を表したものであれば、その変化に着目し、それらについても記述したうえで、自分の意見を述べる必要がある。この点ができているか否かが評価の分かれ目となった。